

## 第5回厚生文教常任委員会会議記録

|  |               |            |             |        |  |
|--|---------------|------------|-------------|--------|--|
| 開 閉 会<br>日 時   | 令和7年7月15日（火曜） |            | 午後1時30分 開会  |        |  |
|  | 休 憩 13:50-50  |            |             |        |  |
|  |               |            | 午後1時54分 閉会  |        |  |
|  | 休憩時間：0時間0分    |            | 会議時間：0時間24分 |        |  |
| 会議場所   | 3階委員会室        |            |             |        |  |
| 出席委員<br>氏 名  | 副委員長 立川 美穂    | 委 員 渡辺洋一郎  |             |        |  |
|  | 委 員 西尾 一則     | 委 員 橋本 和仁  |             |        |  |
|  | 委 員 常通 直人     | 委 員 小笠原 等  |             |        |  |
|  | 委 員 中村 和宏     |            | 議 長 梶澤 幸治   |        |  |
| 説 明 員  | 公立芽室病院事務長     | 石田 哲       | 医事係長        | 佐々木弥恵子 |  |
|  | 事務長補佐         | 杉本 康次      |             |        |  |
|  | 総務係長          | 佐藤 文彦      |             |        |  |
| 参 考 人  |               |            |             |        |  |
| 欠 席 委 員<br>氏 名   | 委員長 中田智恵子     |            |             |        |  |
|  |               |            |             |        |  |
| 事務局職員  | 事務局長 安田 敦史    | 総務係長 竹川 恭史 |             |        |  |
| <p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会<br/>委員長から欠席の申し出があり、芽室町議会委員会条例第11条に基づき、副委員長が職務を代行する旨を告げ、委員会を開会し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件<br/>(1) 調査事項<br/>ア 診療科目等の拡充について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院事務長：資料説明＜経過・時期・内容・今後の診療科目等の拡充について・標榜診療科名の考え方＞</li> <li>・委員長：意見・質疑はないか？</li> <li>・橋本委員：経営に対してどういうメリットがあるのか？</li> <li>・病院事務長：医師の報酬以外は大きな経費はかからず、収支は大きくプラスにはならないが、マイナスにはならない。</li> <li>・橋本委員：今後さらなる診療科目の拡充はあるのか？</li> <li>・病院事務長：診療科目を拡充するためには、資料の4に記載の3項目を満たす必要があり、特に医師の確保が非常に難しく、現段階で次は何科と言及できる段階にはない。</li> <li>・西尾委員：月2回、午後からの診療で採算がとれるのか？</li> </ul> |               |            |             |        |  |

- ・事務長補佐：治療が早期に終わって、そのフォローしていく患者を中心に受診すると見込んでおり、現在の患者数からも採算性は十分見込まれる。
- ・西尾委員：月2回だから、ハード面やソフト面も対応できるのであり、元々いる訳ではない。医師の報酬は1日あたりどの程度の予算額を見込んでいるのか？
- ・事務長補佐：月2回午後からの診療であり、他の診療科との兼ね合いも含め、既存の機材や人材で十分対応できる。
- ・病院事務長：医師の確保については、他院と競合する部分が多く、公立病院でも医師の報酬の金額は申し上げられない。
- ・中村委員：町民の声として、帯広に通院しているけどなかなか足の確保が難しく、公立芽室病院にもこういうふうな科が開設できないのかという、声があったのか？
- ・事務長補佐：高齢者割合増加に伴い、循環器疾患患者も増加しており、特に心不全や不整脈の患者は通院負担が大きく、当院で循環器内科を開設すれば、移動負担軽減と早期治療が実現し、地域のニーズに応えることができる。
- ・病院事務長：現在、循環器疾患の患者で総合診療科の医師にかかっている患者がいて、総合診療科の医師から声が上がった。
- ・中村委員：地域包括ケアシステム構築の一環の1つと考えてよいか？
- ・病院事務長：月2回の開設は常勤医不在のため限界があるが、帯広や他地域から通院していた患者が当院に来ることで、地域包括ケアシステムに貢献できると考えている。
- ・渡辺委員：専門医の派遣は具体的にどこの医療機関からか？
- ・病院事務長：帯広徳洲会病院の院長である竹之内先生。
- ・渡辺委員：経営強化プランの中に記載の令和6年度の非常勤医師として、循環器内科月1回は同じ医師になるのか？
- ・事務長補佐：今回は別の医師なる。
- ・渡辺委員：入院病床を持つ病院への周知は？
- ・事務長補佐：地域連携室は管内の医療機関と常に連絡を取り、訪問やコミュニケーションを重ねており、その中で伝えることになる。
- ・渡辺委員：外来患者数の目標値は？
- ・病院事務長：事務方としては目標値を持っているが、先方の医師と共有したものではなく、公表は差し控えたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

## (2) 協議事項

### ア 第1回モニター会議の意見の取扱いについて

資料2

- ・総務係長：第1回モニター会議の総括案のうち、厚生文教常任委員会所管事務に関する意見について、クラウドに参考資料として保存してある、取り扱いフロー図に基づき、正副委員長で対応案を整理したので、協議願いたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？

- ・渡辺委員：フロー図に基づき、対応案が記載されているので資料のとおりでよい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：提案のとおり決定することに異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：以上で協議事項「ア」を終了する。

### 3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について  
正副一任

(2) その他

- ・委員長：6月定例会議の振り返りについて、各委員から提出がなかったことから、当委員会の振り返りはなしとして、議会運営委員会に報告する。
- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

|      |     |    |       |    |    |    |    |    |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|
| 傍聴者数 | 一般者 | 0名 | 報道関係者 | 2名 | 議員 | 0名 | 合計 | 2名 |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|

令和7年7月15日

厚生文教常任委員会副委員長 立川 美穂